

住民参加型の環境調査

～ 多様な環境問題に対して住民の主体的な行動を促すために ～

はじめに

近年、地球規模での環境問題に関心が集まる中、その解決にあたっては、身近な地域から環境配慮を織り込むことが求められています。そのためには、住民自らが、まず暮らしている地域の環境を知り、その上でより積極的に地域環境の形成に関わっていくことが重要です。

そこで、地域住民が自分の生活と環境が結びついていることに気づき、主体的な行動を起こすきっかけづくりとして「住民参加型の環境調査」を紹介します。

なぜ住民参加が必要なのか

環境に気づくための『はじめの一步』

私たちの周りには様々な環境問題が存在します。これらの問題を自分の身近なものとして捉えることはなかなか難しいことですが、調査などを通して好奇心をもち楽しく環境にアプローチすることで、環境問題を自分の身近なものに感じることができます。

環境調査は、環境問題に取り組むための入りやすい一番大きな扉であるといえます。



「他人ごと」を「自分ごと」にするために

環境問題がどこか他人ごとのように感じてしまう理由は、自分の暮らしと環境のつながりが見えにくいことに原因があります。例えば、水道水の水源となる河川の汚れ具合を調べてみましょう。「水」と「自分」と「環境」とのつながりがわかれば、誰もが環境の大切さに気がつくはずです。

環境調査は「他人ごと」を「自分ごと」にするための効果的な第一歩になります。



住民参加による調査例

水辺の生き物調査

河川などに生息する生物を採集して生物の豊かさ、水質の汚れなどを調査します。ホタルなど指標生物を選定して調査する場合があります。



河川の生き物調査



採取した生物の観察

水質調査

河川、湖沼、地下水などの水質を簡単な試薬を使って測定します。目的に応じてBOD、DO、窒素など様々な項目を測定することができます。



水質簡易測定キット



キットを使った水質調査

住民の手による調査

住民が主体となって調査計画の立案から調査の実施、とりまとめまでができるように、体制面や運営面でのサポートが重要になります。



ワークショップ



調査結果のまとめ

住民参加 地域コミュニケーションマップ

インターネットを利用して、環境情報を地図上に自由に書き込み、閲覧できるシステムです。行政や住民間のコミュニケーションを促進するツールとして、いま注目を集めています。(国土交通省GIS公募型実証実験 参加システム)



投稿情報



位置の表示

玉野総合コンサルタント株式会社

お問い合わせ先： 事業企画部 (TEL. 052-979-3960 / FAX. 052-979-3970)